

No.	026	—	1001	事務事業名	成人式開催事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策					
	事業の対象	東温市内在住または出身の新成人該当者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	新成人の門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図ります。			今年度	成人式を、新成人自らが企画・運営し実施します。						
	活動内容	①	成人式実行委員会の設置			④	会場準備						
		②	成人式の内容等について協議			⑤	式典の運営						
		③	新成人、恩師、来賓への案内										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		成人式参加割合		成人式出席者数/案内者数		%	目標 80%(293/366)	80%(250/312)	80%(276/345)	80%			
					実績 76%(277/366)	77%(241/312)							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,270 千円	1,262 千円	1,230 千円								
	計(A)	1,270 千円	1,262 千円	1,230 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.539 人	3,241 千円	0.539 人	3,246 千円	0.539 人	3,215 千円					
		臨時職員工数・経費	0.002 人	4 千円	0.002 人	4 千円	0.002 人	4 千円					
	全体事業費(A+B)		4,515 千円	4,512 千円	4,448 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	成人になったことを祝福し、成人としての自覚を持つために必要な儀式・行事であり、市が恒久的に実施すべき事業です。												
有効性	古い歴史を持つわが国独特の事業であり、参加者からは満足を得られる事業となっています。												
達成度	県外に進学している案内対象者が多く、出席できない方もいますが、後日記念品等を受け取りに来た対象者が平成26年度は21人、27年度は16人おり、これらを参加割合に加味すればいずれも80%以上になります。												
効率性	既に新成人による実行委員会形式で行う等、コスト削減は実現しており、式の特性上、これ以上の簡素化やコスト軽減はふさわしくないと考えられます。												
当面の課題	大学生がほとんどであるだけに、県外在住者も多いため実行委員のなり手が少なく、募集方法や周知方法を再考する必要があります。												
改 革 画	県内大学・専門学校に対し募集ポスターの掲示を依頼する等、新成人の目につくところでの募集告知を行います。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市内に在住する実行委員の選出が困難と成ってきており、SNS等を活用して早期に実行委員の募集ができるよう努めてください。また、新成人の代表者と市長との懇談会により、新成人の意見を市政に反映できるよう検討してください。												

No.	026	—	1006	事務事業名	Jr. リーダー育成講座事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(4) 青少年団体、リーダーの育成				
	事業の対象	東温市内の中学生				根拠法令							
	事業の目的	最終的	新しい時代を切り拓く積極的な心を育て、次代の指導者として育成します。			今年度	体験学習を通し、仲間や地域の人々との連帯感を深め、一人ひとりの自己教育力の確立を目指します。						
	活動内容	①	6月18日(土) 開講式・オリエンテーション(東温消防署:煙避難体験等)			④	10月1日(土) ジャック・オー・ランタン作り(中央公民館)						
		②	7月9日(土) 乗馬体験(東温市奥松瀬川)			⑤	12月26日(月) スキー・スノーボード体験(久万スキーランド)						
		③	8月17・18日(水・木) 野外体験キャンプ(東温市滑川)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		講座参加者数		参加者の実数		人	目標 30	30	30	30			
					実績 23	24							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費	平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	220 千円		441 千円		264 千円						
	計(A)	220 千円		441 千円		264 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.166 人	998 千円	0.166 人	1,000 千円	0.298 人	1,777 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)	1,218 千円		1,441 千円		2,041 千円							
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	学年や学校の枠を超えた中学生対象の年間を通した講座は、県内の他の市町ではあまり事例がありません。学校ではできない体験をすることは、青少年の成長及び次世代のリーダーを育成する上で必要と考えます。												
有効性	他校の生徒との交流を通して協調性、自主性を身につけるのに有効です。講座内容は、いろいろな経験が出来るよう毎年見直していきます。												
達成度	年により参加者の人数は増減していますが、ほぼ達成しています。												
効率性	なるべく予算をかけない方法で実施しておりますが、体験の楽しさを感じられる事業を効果的に実施していきます。												
当面の課題	レクリエーション的な内容になりがちであることから、社会の変化とともに事業を見直す必要があります。												
改 革 画	出前講座等の活用できる講座を利用し、幅広い講座内容を検討します。また、担当職員のスキルアップのため、研修等に積極的に参加します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	Jr. リーダー育成講座の修了生が、高校生になっても、わんぱく広場や児童館での活動における、指導者として参加できるシステムづくりに努めてください。												

No.	026	—	1011	事務事業名	わんぱく広場事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 青少年の健全育成		主要施策	(4) 青少年団体、リーダーの育成				
	事業の対象	東温市内に在住している小学4年から6年生の児童				根拠法令							
	事業の目的	最終的	体験活動を通じて、地域の自然・文化を再認識させ、仲間意識・連帯感の高揚を図り、子どもに生きる力・創造力・健全な心身を養うことを目的とします。			今年度	様々な体験活動を通じて仲間と協力し、自ら行動する力を養います。						
	活動内容	①	6月20日(土)そば打ち体験!(クラフトの里)				④	11月14日(土)カーリング体験(イヨテツスポーツセンター)					
		②	8月5日(水)~6日(木)夏季教育キャンプ(滑川野外活動研修施設)				⑤	3月5日(土)パークゴルフ大会!・閉講式(ジョイグリーン)					
		③	9月26日(土)エネルギー講座										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標		
		講座参加者数		参加者の実数			人	目標	50	50	50	50	
						実績	76	54					
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
ODO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	176 千円	167 千円	292 千円								
	計(A)	176 千円	167 千円	292 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.161 人	968 千円	0.161 人	970 千円	0.161 人	960 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,144 千円		1,137 千円		1,252 千円						
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	実施方法は各市町で異なりますが、多くの市町で独自に実施されております。その中でも本市のように市内全域の児童が交流している例は他ではあまり見られないので、他校児童との交流を通じて多くの仲間を育むために必要です。												
有効性	学校では実施されていない講座内容を考えて実施しております。そして、参加児童が講座に参加することを通じて、他の参加児童との交流や協調性、自主性を身につけるのに有効です。												
達成度	少子化で児童数が減少しているにもかかわらず、参加児童数の減少は見られず、それに加えて毎年講座に継続して参加してくれる児童も多いため、概ね達成できています。												
効率性	現状でもなるべく予算をかけないように考えて実施しております。しかし、この事業を今後も長く継続するためには、ボランティア制度等を利用することで、さらなる効率性を検討する必要があると考えます。												
当面の課題	児童の健全育成を推進できるように体験型の講座を充実させ、参加してくれた児童にとってより良い講座となるように、参加児童に合わせて随時検討を行う必要があると考えます。												
改革計画	講座実施時に参加児童の様子を細かく観察して得た情報や他市町の実施内容等の様々な情報を基に、参加児童にとって、より良い講座となるように改善します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	開催時期や情報収集による事業見直しにより、男女を問わず多くの児童が参加できるようPR方法についても工夫してください。												

No.	026	—	1016	事務事業名	社会人権同和教育事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第6章 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	1 人権尊重のまちづくりの推進		主要施策	(1)人権教育・啓発推進体制の充実				
	事業の対象	東温市民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市民一人ひとりが人権を尊重する、差別のないまちを目指します。			今年度	講演会や研修会を積極的に開催し、関係機関等との連携を図りながら、人権教育や啓発活動を推進します。						
	活動内容	①	6月24日(金) 第1回人権ゼミナール			④	12月4日(日) 人権を語る集い						
		②	8月26日(金) 人権講座(兼教職員人権・同和教育研修)			⑤							
		③	9月30日(金) 第2回人権ゼミナール										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
		講座参加者数		参加者の実数		人	目標 800	800	800	1,000			
					実績 708	778							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育			費				
	直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	3,293 千円	3,293 千円	3,293 千円								
	計(A)	3,293 千円	3,293 千円	3,293 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.124 人	746 千円	0.124 人	747 千円	0.124 人	740 千円					
		臨時職員工数・経費	0.744 人	1,446 千円	0.744 人	1,431 千円	0.744 人	1,434 千円					
	全体事業費(A+B)		5,484 千円	5,470 千円	5,466 千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	人権を尊重し、人権意識を向上させることが、誰もが暮らしやすい人権尊重のまちづくりにつながります。												
有効性	人権尊重社会の確立に向けた継続した様々な取り組みが必要です。												
達成度	参加者の人数については、ほぼ達成しています。												
効率性	協議会への補助金がほとんどですが、活動内容に対して適当な額であると考えます。												
当面の課題	全ての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、一人ひとりの人権尊重の精神の涵養を図ることが重要です。そのためには人権教育・啓発は不可欠であり、継続して実施していきます。												
改革計画	すべての人が尊ばれ、人権尊重のまちづくりを目指す本市では、これからの住民となる子どもたちへ、人権教育を推進するための更なる研究が必要となります。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	より多くの市民が参加できるよう、各種研修会や研究大会等を通じた学習機会の提供に努めてください。												